

n 時間 目

東京藝術大学大学院の中村政人研究室では、芸術文化の創造プロセスをアートプロジェクトを通じて研究しています。修士課程の4人の学生が市原市をリサーチし、内田小学校での美術作品展示を開催します。学生たちの表現は様々で、鑑賞者との制作ワークショップも予定されています。本展示会は、市原の土地や人にまつわるものを扱います4人の制作の共通項は「成り立ち」や「流れ」でした。時が流れ、その土地の文化やコミュニティが形作られていきます。市原に脈々と受け継がれてきた時間を、直線的な自然数と捉え、「n 時間」経っていると考えました。展示会場が小学校ということから親しみを込め、誰もが耳にしたことのある「〇時間目」という響きと合わせてこのタイトルを採用しました。

モノ語り師

— あらかわまほ アモン・ド・ナッツ —



本プログラムメインビジュアル



展示イメージ図

東京藝術大学の学生が市原に住む人や、小学校にまつわる人の話を本(絵本)などにして展示しています。また、朗読と併せた人形劇のワークショップも開催。東京藝術大学の学生が旧内田小学校での草刈り体験や市原市の様々なリサーチから感じた、小学校を中心地として人々の団結力が広がりがつなげてきた歴史を、訪れた方に限らず、現地に住む人々と共有しながら、新たな歴史の担い手となる子どもたちとも対話を生むような朗読&人形劇になっています。

受付 予約不要 参加費 無料

出店日 ○インタビュー zine、絵本の常設展示：4/13(出)～29(月)祝

○人形劇 & 朗読劇：4/27(出)・28(日)・29(月)祝(11:00～11:30 のごんにち公演、15:00～15:30 のおやつ公演)

○本ワークショップは小さなお子様連れの方を中心に年齢を問わず人形劇と朗読劇を楽しめるようなプログラムを目指しております。静かに鑑賞するだけでなく、時に作家たちや親子同士でコミュニケーションを気軽に取り合える和やかな雰囲気でのワークショップですので元気なお子さんも安心して見学可能です。

※座席はございません。床に座って好きな位置で鑑賞して頂きます。また、床に座ることが困難な方には椅子をご用意いたします。本ワークショップ開始前に作家にお申し付けください。

とちがみさまプロジェクト

— 松下 七菜 —



参考過去作品画像「九品往生阿弥陀如来図」

市原市のさまざまな地名を調べるうちに養老川による水害や土砂崩れなど自然災害の警告が元となった地名が数多くあることに気が付きました。また、それらの地名の中には、おそらく土地の印象をよくするため他の縁起の良い漢字が当てられている場所もあります。地名の由来が先人の知恵と警告であると知らせると同時に、現在から未来までの周辺の土地と人々の平安を願い、土地に関する神さまを発想しキャラクター化して親しんでもらうプロジェクトです。

参加費 無料 展示期間 全日

むらを編む

— 水口 理琉 —



展示イメージ図



参考過去作品

この企画は、旧内田小学校の身近にある木をつかって、みんなで自分の『巣』(秘密基地)をつくるワークショップです。内田小の自然と直にふれあい、親しんでみたい、という気持ちで企画しました。舞台はわんぱく池のまわりです。真ん中に作者の『巣』がつくられています(参考過去作品参照)。積んである枝木を使って、思い思いのかたちに編み込んだり、紐で結んだりして自分の『巣』をつくりましょう。ワークショップ期間が終わる頃には、わんぱく池にそれぞれの『巣』が集まって、小さな村ができていくかもしれません(展示イメージ図参照)。また、ワークショップ期間終了後は、常設展示期間となり、鑑賞者は『むら』の中に入ることができます。

受付 ワークショップ予約不要 参加費 無料

出店日 ○グループワークショップ日程 (13:00～16:00)

第1グループ：3/23(出)・24(日)

第2グループ：3/30(出)・31(日)

第3グループ：4/6(出)・7(日)

第4グループ：4/13(出)・14(日)

第5グループ：4/20(出)・21(日)